

Cisco E メール セキュリティ アプライアンスを 通過するメッセージに追加したカスタム X- Header が Exchange サーバで見えないのはなぜ ですか。

概要

この資料は X ヘッダが Microsoft Exchange サーバで抜けている/目に見えないとき問題を記述したものです。

背景説明

最近抜けた X ヘッダの Microsoft Exchange™ を実行している顧客からのレポートが、あってしまいました。Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) が Exchange 5.5 サーバに最初に受信メールを送信する環境、および 5.5 サーバでは Exchange 2003 サーバにメールを転送します、文書化されていないバグが、および/または modifies カスタム X ヘッダの値除去する Microsoft コードであります。このバグは Exchange サーバに両方ともインストールされる最新更新があっても持続します。問題の解決の情報のために下記のリンクに従って下さい。

\$REFERENCES

- [Exchange サーバ 5.5 コンピュータからの Internet E-Mail メッセージを送信するとき X ヘッダ期待された独立した 値の代りに同じ値は割り当てられます](#)